

キャリア教育への取り組み

項目	目標、ねらい	キャリア教育プログラム例	内容
入学前（キャリア形成段階）	<p>入学決定前</p> <p>・広報活動において、キャリア教育の視点を取り入れて実施する。 基盤となる勤労観・職業観を形成する時期。働くことの面白さや進路・職業選択において「したいこと」「できること」を一致させ、職業の役割や意義、できることを増やすために学びの大切さを理解する。</p> <p>入学決定後</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校説明会</li> <li>・体験実習</li> <li>・個別相談</li> <li>・校内・会場ガイダンス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験入学・個別相談会において、興味、関心がある職業の理解、疑似体験（体験実習）、通じて一定の職業観、勤労観を持ち、進路を決定する。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレカレッジ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学後の学校生活にスムーズに適應できるように、入学準備のプログラムを実施する。 模擬授業・模擬実習や在校生との交流、卒業生の講演などのプログラムを通じて、入学前の不安を解消する。</li> </ul>
在学中（キャリア設計段階）	<p>・専門職業に就くプロセス設計と能力の修得をする時期。 在学中の様々な教育活動において、キャリア教育を実践的に取り入れ、職業人として必要となるスキルやマインドを修得していく。 また養成するマネジメント能力を「セルフマネジメント力」「チーム協働のマネジメント力」「プロジェクト遂行のマネジメント力」に分類・定義して、キャリア教育を実践する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入教育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業人教育への動機付けを目的として、プロになるためのビジョン・行動の原則を共通のものとして実施する。 現場見学、授業、グループワーク、イニシアチブゲームなどを実践し、マネジメント力修得を目指す。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・業界と連携した就職プログラム</li> <li>・校内採用説明会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業界との強いパイプを活用したキャリア教育を実践。業界模擬面接会では、実際の医療施設で人事採用を行っている方に、面接を通じて自分の強み、弱みを把握し、自らの職業観などを再確認して、就職活動に活かす。</li> </ul>
卒業後（キャリア開発段階）	<p>・社会人、職業人としてさらなるキャリアを開発する時期。 卒業後に、自分自身の研鑽を継続して、さらなるキャリア開発を目指す人に対して、あるいは職業への移行が停滞している人たちに門戸を開き、キャリア形成の支援を生涯に渡り実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯就職支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業後のキャリアアップの相談支援や、勤務先の変更など、卒業後もキャリア開発をサポートする。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒後支援プログラム</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業後のキャリア開発に必要な専門スキルやマインドを学ぶプログラムを実施。業界や社会的なニーズに合わせた教育プログラムを行う。</li> </ul>